

1. 件 名：東北電力株式会社女川原子力発電所の原子力事業者防災訓練の
事前説明について

2. 日 時：令和4年1月19日 15:00～17:15

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

澤村防災専門官、和田専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

東北電力ホールディングス株式会社

本店 原子力部 部部長他6名

5. 要 旨

東北電力株式会社から、令和4年2月25日に予定されている同社女川原子力発電所における原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 今年度評価指標のうち主に[PLAN(計画)]、[DO(実行)]に関する内容
- ・ 能力向上を促す実効性のある訓練シナリオとして考慮した事項

原子力規制庁から、訓練シナリオに対し、能力向上を促す実効性のある事故シナリオとしている考え方について確認し、シナリオの多様化のため付与する場面設定に対し、内容、訓練における狙い等の考え方を詳しく示すよう伝えた。併せて「令和3年度評価指標（実用発電用原子炉）」における「指標7. 現場実動訓練の実施」の位置付けを兼ねる現場実動訓練について、当該訓練におけるマルファンクションの付与に対し考慮した事項を明確に示すよう伝えた。加えて、判断能力向上を促せるようなマルファンクションの付与を検討するよう伝えた。

また、原子力規制庁から、事業者防災訓練のピアレビューを受けた結果を報告できるように関係各社と調整することを伝えた。

東北電力株式会社から、本日の面談を踏まえ、対応する旨回答があっ

た。

今後、訓練実施に向けて、原子力規制庁と東北電力株式会社の訓練コントローラ間で調整しながら準備を進めることとした。

6. その他

配布資料：

資料1 訓練計画説明に係る面談（5週間前）について